

保存修復学 講義 ガイドライン

参考資料：歯科医学教授要綱，コアカリキュラム，
教育問題委員会による歯内治療学ガイドライン

【ユニット1】 保存修復学の基礎的背景

学習目標（GI0）：歯科医学における保存修復学の位置づけを理解するために、関連する基礎的事項を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 保存修復学の歴史的変遷を説明する。
- 2) 治療の対象となる歯の硬組織疾患を列挙する。
- 3) 保存修復治療の目的・意義を説明する。
- 4) 象牙質・歯髄複合体の構造と機能を説明する。
- 5) 歯の硬組織疾患の病因と病態を説明する。
- 6) 歯の発育障害の病因と病態と加齢変化の特徴を説明する。
- 7) 象牙質痛の機序を説明する。

コアカリキュラム：

- E-3-3)-(1)⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。
- E-3-1)①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。
- E-3-1)②歯種別の形態と特徴を説明できる。
- E-3-1)③歯（乳歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造と機能を説明できる。
- E-3-1)④歯髄の構造と機能を説明できる。
- E-3-2)①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。
- E-3-2)②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。
- E-3-2)⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。
- E-3-2)⑥歯痛の機序を説明できる。

【ユニット2】 う蝕の検査・診断

学習目標 (GIO) : 切削介入の対象となるう蝕を判断するために、う蝕の病因と特徴に関する知識に基づいたう蝕の検出方法と診断について理解する。

行動目標 (SBOs) :

- 1) う蝕の病因を説明する。
- 2) う蝕の分類と特徴を説明する。
- 3) う蝕の検査法と診断を説明する。

コアカリキュラム :

E-3-3)-(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】

E-3-3)-(1)⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。

E-3-3)-(1)⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。

【ユニット3】 う蝕の処置方針、予防および治療法

学習目標（GI0）：う蝕の診断に基づいた処置方針を立案するために、う蝕の予防法および治療法を理解する。

行動目標（SB0s）：

- 1) う蝕のリスクファクターを説明する。
- 2) う蝕予防について説明する。
- 3) う蝕の処置方針（治療および治療計画）を説明する。
- 4) う蝕の治療法を説明する。
- 5) MI（ミニマルインターベンション）の意義について説明する。
- 6) 歯髄の近くまで感染が及んだう蝕の処置を説明する。

コアカリキュラム：

- E-3-3)-(1)②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。

【ユニット4】 修復治療法の基本と術後管理

学習目標（GI0）：歯冠修復を行なうために、必要な治療法の基本的事項と術後管理を理解する。

行動目標（SB0s）：

- 1) 歯の硬組織疾患治療に必要な診療設備、および治療姿勢を説明する。
- 2) 修復物の具備すべき形状と、歯の硬組織疾患に対する修復の選択基準を説明する。
- 3) 窩洞形成に必要な器械を説明する。
- 4) 窩洞の名称、分類、および形態に関する諸条件を説明する。
- 5) 歯髄障害と歯髄保護の重要性を説明する。
- 6) 修復に必要な前処置の目的と意義を説明する。
- 7) 直接修復法の種類と適応症を説明する。
- 8) 間接修復法の種類と適応症を説明する。
- 9) 仮封の目的、種類および特徴を説明する。
- 10) 術後管理の目的と方法を説明する。
- 11) 術後不快症状の原因と処置法を説明する。
- 12) 医療安全・感染予防対策の重要性を説明する。

コアカリキュラム：

- E-1-1)③歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。
- E-1-1) ④診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑪仮封の意義、種類および特徴を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。
- E-3-3)-(1)⑰修復後の適切なメンテナンスができる。

【ユニット5】 接着修復の理論と治療法

学習目標（GI0）：接着修復材料を用いた治療を適確に行なうために、接着メカニズムの理論と治療法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 接着性修復の臨床的意義を説明する。
- 2) コンポジットレジン修復の接着メカニズムと修復手順を説明する。
- 3) グラスアイオノマーセメントの接着メカニズムと修復手順を説明する。

コアカリキュラム：

- E-3-3)-(1)⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

【ユニット6】 間接修復法

学習目標（GI0）：広範囲に及ぶ歯冠欠損に対処するために、間接修復法の種類と方法を理解する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 間接修復法の種類（コンポジットレジン、セラミック、メタル）、特徴を説明する。
- 2) 間接修復法の治療の流れを説明する。
- 3) セメントの種類、特徴および用途を説明する。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。

E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

【ユニット7】 非う蝕性硬組織疾患の診断と治療

学習目標 (GI0) : う蝕以外の各種硬組織疾患に対処するために、それらの病因・病態、予防、処置方針、および治療方法を理解する。

行動目標 (SB0s) :

- 1) くさび状欠損 (非う蝕性歯頸部欠損)、咬耗症、摩耗症の病因、病態および診断を説明する。
- 2) くさび状欠損 (非う蝕性歯頸部欠損)、咬耗症、摩耗症の予防と治療法を説明する。
- 3) 変色歯・着色歯の症状と診断、予防と治療法を説明する。
- 4) 歯の形成異常と形態異常の病因、病態、診断および治療法を説明する。
- 5) 酸蝕症 (侵蝕症) の病因、病態、診断および治療法を説明する。
- 6) 歯の外傷 (破折、亀裂) の症状と診断、予防と治療法を説明する。

コアカリキュラム :

- E-3-3)-(1)③tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。
- E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。
- E-2-4)-(2)②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。
- E-2-4)-(2)④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。

【ユニット8】 高齢者における保存修復治療

学習目標（GI0）：高齢者に特徴的な歯の硬組織疾患に対処するために、歯科治療上の留意点を理解する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 歯の生理的な加齢変化を説明する。
- 2) 高齢者の歯の硬組織疾患の特徴を説明する。
- 3) 高齢者に対する修復治療上の留意点を説明する。

コアカリキュラム：

- E-4-3)①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
- E-4-3)②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
- E-4-3)③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- E-4-3)⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- E-4-3)⑦高齢者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。

【ユニット9】 歯科保存学における審美治療

学習目標 (GI0) : 歯の審美障害に対処するために、審美修復材料と治療法を理解する。

行動目標 (SB0s) :

- 1) 歯の色調とその測色法を説明する。
- 2) 歯の審美障害の原因を説明する。
- 3) 直接修復法 (コンポジットレジン) による歯の審美治療を説明する。
- 4) 間接修復法 (ラミネートベニア、インレー等) による歯の審美治療を説明する。
- 5) 歯の漂白法 (ウォーキングブリーチ、ホームブリーチ、オフィスブリーチ) を説明する。

コアカリキュラム :

E-4-3) ⑦失活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。